

よしだ 議会だより



小学生の登校風景

第85号

吉田町議会

〒421-0395
静岡県榛原郡吉田町住吉87
TEL:0548-33-2141
平成29年5月発行
責任者 議長 大塚邦子

平成29年第1回定例会	2
一般質問 4人が町政を問う	8
委員会報告	12
28年度議会目標に対する自己評価	15
まちの話題	16

一般会計予算

114億9,800万円 (いいよ!くらしやすい)

新年度の取り組み

対前年度比19億600万円の増(+19.9%) (●は新たな取り組み)

- よしだにここ子育て保健サービス (1,542万円)
 - ・子育て世代包括支援センター(よしにこ)
 - ・電子親子手帳(よしきたダイアリー)
 - ・妊娠出産等応援パッケージ助成(よしにこパッケージ助成)
- 保育内容に関する意識調査・・・保育に関する希望調査 (297万円)
- 教職員の多忙化解消・・・年末年始の巡回警備を外部委託 (217万円)
- 自彊小学校の教室増設・・・多目的ホールを普通教室(2室)に (2,519万円)
- 創業支援センター・・・旧すみれ保育園跡地を活用(3区画) (61万円)
- 吉田町発信アプリケーション(よし吉通信) (233万円)
- (28年度途中から)臨時保育士の賃上げ等、職場環境改善 (1億2,869万円)
- (繰越事業)各小中学校全教室にエアコン設置 (2億7,540万円)
- 多目的広場盛土工事・・・高さ10m、延長195m (3億2,009万円)
- 内陸フロンティア・・・高島地区道路拡幅・橋梁設置等 (2億1,190万円)
- 総合体育館耐震化工事・・・平成30年4月オープン (5億9,000万円)
- ふるさと納税の活用・・・ふるさと納税寄附金7億円(歳入) (4億4,842万円)

【ふるさとよしだ寄附金充当事業】

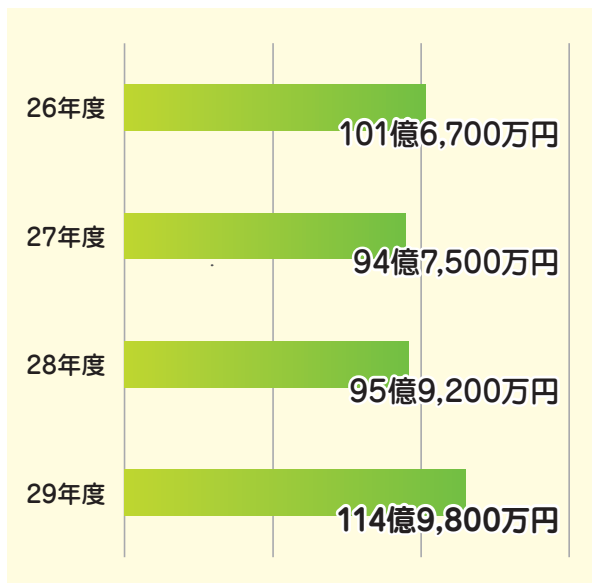
- ・健康でいきいきと暮らせるまちづくり (5,338万円)
- ・産業振興のまちづくり (2,010万円)
- ・多様な交流を生むまちづくり (436万円)
- ・心豊かな人を育むまちづくり (3,765万円)
- ・豊かな自然と共生するまちづくり (1,078万円)
- ・行政・住民が一体となって取り組むまちづくり (157万円)

3月1日から22日までの会期中、第1回定例会を開催し、条例の制定9件、一般会計・特別会計補正予算6件、29年度予算案7件、規約の変更2件、協約締結1件、指定管理8件、人権擁護委員の推薦2件、計35議案を審議し、可決、適任した。

議員発議の要望書を可決した。



耐震工事で休館する総合体育館



最近4力年の当初予算額の推移(一般会計)

平成29年度 過去最高額

一般会計予算質疑

歳入

問 他の市町へのふるさと納税寄付で、税収が減った自治体がある。

答 当町ではどこをライオンにするのか。

問 制度上、寄付控除額は発生する。品格を持ち、産業振興も考え、町の魅力を発信していきたい。

問 町民税は増加しているが、法人町民税は減額である。新しい企業・店舗が開業しているのになぜか。

答 リーマンショック以降景気が低めに推移しており、法人町民税の増収とはなっていない。



ウナギの出荷

歳出

問 ふるさと納税の返礼品代が5割、送料、委託料をふくめると7割となり、残りが3割である。送料などの値上がりで、返礼品の率を下げるようになるのか。

答 7割が経費であるが、返礼率を公表することは禁止されている。適宜対応していきたい。

問 自治体クラウドの整備を川根本町と実施する理由は。

答 委託先との更新時期の問題もあり、川根本町と共同で進める。

問 まちづくり公社の常勤3人、臨時職員2人の人材確保は。

答 最低限の人材は確保できているが、新たな人材を確保する。



まちづくり公社のある北オアシス館

問 27年度末の起債残高が22億円と増えている。償還時期のピークが変わってくるのではないか。

答 11億円の償還金を予定しており、償還のピークは30年度となる。償還額を上回らないルールで運用したい。

問 認知症の高齢者が増えている。見守り体制は十分か。

答 事業者にお願いしているが、異変を感じ連絡してもらった事例もある。

問 第7次介護計画の実情は。

答 国の方針に基づく計画と地域の実情を見て決めていきたい。

問 飼い主のいない猫の不妊去勢手術費補助金に300万円の予算を組んでいるが効果はあるのか。

答 毎年約200件の実績がある。どれだけの効果があるとは言えないが、対応しなければ現状維持できないのが実態である。

問 商工会への補助金が毎年減額となっている。町の実情はどこにあるのか。

答 補助がなければ目的が達成されないのか。商工会から要望・理由があれば付けたいが、明確なものとならなければならない。産業振興という形で別途支援していく。透明性を増やしていく。

問 TOUKAII-0で木造耐震補強に30万円の上乗せがあるが、やりたいという風を起す必要がある。

答 該当者に通知した。10軒やりたいとの返事が来ている。建築士会と連携を取りPRしたい。



耐震リフォーム中ののぼり

問 大幡川幹線道路の見直しは。

答 文化財保護の問題もあり、地元の方に集まっていたという測量を実施したいと説明した。

大幡神社の氏子も含めて了解をいただいたので、今後粘り強く折衝していきたい。

問 津波避難誘導標識は避難タワーへの標識か。

答 海岸にある看板7カ所の更新である。タワーへの誘導標識や町外の人への看板は考えていない。

問 高等学校等奨学金は高校在学中の生徒は途中から申請できないか。

答 教育振興の規則により運営委員会に諮問することとなっており、高校入学時に限られる。今後検討していく。

問 民間所有の文化財の保護修繕費が大変と聞く。チェックはしているのか。

答 文化財保護審査会の人に見てもらっている。検討したい。

問 学校の授業日数が増え、それに伴って給食費も増えると思うが。

答 14日分の給食費が増える。各学校や家庭に通知し周知したい。

問 高島グラウンドは全体的に整備が必要ではないか。

答 部分的に補修している。今年度は住吉の体育センターのネットを修理する計画である。



体育センターの防球ネット

平成28年度一般会計補正予算(第4号)

歳入歳出総額3億3,965万円を減額し、総額106億3,247万円となる。

【主な特徴】

- 教育振興事業費(吉田中学校特別教室の空調) 4,819万円(総額3億3,762万円)
- 漁港環境整備、道路補修修繕事業、西の宮雨水幹線事業、情報伝達充実事業 (△2億4,496万円)

【繰越となる主な事業】

- 企業活動維持支援事業(高島9号線設計委託料) (3,100万円)
- 大幡川改修事業(全額) (4,500万円)
- 土地区画整理事業(浜田地区) (1,348万円)
- 教育振興事業費(小中学校空調設備工事) (2億7,540万円)

一般会計補正予算案の質疑

問 消防費の県補助として191万円が歳入として入っているが、これは中電からの特定発電所周辺交付金であり、町も議会も廃炉を決定している。どう考えるのか。

答 町の考えは廃炉である。交付金の用途は原発の安全対策であり、防災対策の避難計画などに使用する。

問 静岡空港の県補助金が減っているが、使用目的の多目的広場盛土工事への影響はないか。

答 事業費の減に伴い補助金も減となる。

問 町外の認定こども園への給付費が増えている。町内に認定こども園がないから町外へ行っているのか。町内に設置する予定は。

答 3歳児以上の幼稚園(認定こども園)への入園給付費である。アンケートを取ったが、理由は金額ではなく、認定こども園に魅力を感じたとの回答だった。町内でも魅力を感じる施設を考えたい。

問 産前・産後サポート委託料の執行がゼロだが要因は何か。

答 母子健康手帳発行時に支援プランなどを説明したが、特別な扱いとの印象を与えてしまった。助産師、ヘルパーを活用し、利用への定着を図りたい。



28年度特別会計補正予算

【全員一致で可決】

吉田町土地取得事業
特別会計補正予算

補正額 38万円

歳入歳出

総額 1544万円

質疑なし

吉田町介護保険事業
特別会計補正予算

補正額 △1億0650万円

歳入歳出

総額 18億9293万円

質疑なし

吉田町国民健康保険事業
特別会計補正予算

補正額 △4765万円

歳入歳出

総額 33億9807万円

質疑なし

吉田町公共下水道事業
特別会計補正予算

補正額 △3111万円

歳入歳出

総額 11億3915万円

質疑なし



下水道工事

29年度特別会計予算

総額 68億1367万円

【全会一致で可決】

29年度特別会計
予算質疑

土地取得事業
特別会計

質疑なし

国民健康保険事業
特別会計

29年度から高額療養費賦課限度額が引き上げになるが、何人が影響を受けるか。

問

限度額の変更額や、何人に影響があるかも把握できていない。C型肝炎、肺がん治療薬の高額薬品の影響がある。

答

特別会計（内訳）

単位：万円

特別会計事業名	本年度予算額	前年度予算額	差引増減
土地取得	1,502	1,505	△3
国民健康保険	334,240	332,595	1,644
後期高齢者医療保険	24,635	23,809	825
介護保険	205,837	194,869	10,968
公共下水道	115,153	116,273	△1,119
合計	681,367	669,051	12,316

水道事業会計（内訳）

単位：万円

区分	収入	支出	差引増減
収益的収支	58,747	55,320	3,427
資本的収支	8,967	38,465	△29,498



肺がん治療薬

後期高齢者医療事業
特別会計

質疑なし

介護保険事業
特別会計

問 ワンコインサービスが始まるがシルバー人材センターが忙しくなりサービスが行き届かないことはないか。

答 シルバー人材センターの需要は伸びる。各4地区で地区員を募集して、訪問型ワンコインサービスの要望に応じて行く。

問 ヘルパーが行っていた家事援助が訪問型家事援助ワンコインサービス一時間100円となる。電球の取り換え、草取り、留守番はワンコイン一時間500円に、サービスの兼ね合いは。

答 どちらを選ぶかはケアマネージャーが選択する。

公共下水道事業
特別会計

問 下水道工事箇所での補助金と町単独で行う部分がある。今回の予算の根拠は。

答 認定区域内を区画割し予定排水量が1日3m³以上の場合、国の補助金を活用して工事を施工する。その他は町の費用で工事を施工する。

水道事業会計

問 企業債5800万円の理由は。

答 配水池から避難所までの配水管布設替え工事など将来を見据えた整備を行う。地震などの災害時においても避難所に行けば「水が出る」という環境整備を行う。

問 経営戦略の中には水道料金の見直しは。

答 収支のバランスが崩れる事がある。ば、値上げする事もある。

条例の一部改正
【全会一致で可決】

吉田町防災会議
条例

問 25人の定数を35人と10人増員する理由は。

答 職員、自主防災委員、警護委員の必要性があれば入っていただき、町の重要な対策を図っていきたい。

吉田町職員定数条例等

問 職員の定数が235人から248人になる。業務が多忙化しているが、業務の見直しは。再任用は定数に入っているか。

答 定数モデル数があり上限を定めて運用する。業務の見直しや職員を効率的弾力的に考えていく。短時間再任用は定数に入っていない。

吉田町税条例等

問 軽自動車税は町独自で決める事ができるが定住の促進を図るために軽減できないか。

答 制限税率が定められている。将来税率を変えられるが、環境性能割は県で徴収するため、各市町で異なる基準で行うことは難しい。

環境性能割とは「自動車取得税が廃止され軽自動車税の中に環境性能割を設ける。燃費性能などに応じて非課税、1%、2%の3段階で課税される。」

吉田町職員の育児休業等

質疑なし

吉田町個人情報保護条例及び吉田町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例

質疑なし

吉田町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

質疑なし



シルバー人材センター



環境性能割軽自動車

吉田町指定地域密着型サービス事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例

問 地域密着型サービス事業は町の管理になるが管理体制は。

答 新設事業所は1年以内、既存施設は3年に一回町が監査実施指導をする。



創業支援センター

地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に関する人員等の基準を定める条例

質疑なし

条例の制定

吉田町創業支援センター設置条例

問 職員が常駐していないが利用時間の管理体制は。

答 公共の施設が8時から21時までになっている。利用者説明をして理解していただく。

吉田町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例

質疑なし

規約の一部変更

駿遠学園管理組合規約

質疑なし

静岡市及び吉田町における連携中枢都市圏形成に係る連携協約

問 連携中枢都市圏とは。とわが町の関わりは。

答 5市2町の首長会議の中で参加を決定、静岡市を中心とし都市圏域で連携して事業を行う。町で必要でない時は行わない。申請するときは地方交付税を受ける。今年度の予算は、東名バスの停留所の改善費用をお願いしている。
5市2町とは
(静岡市・藤枝市・焼津市・島田市・牧之原市・吉田町・川根本町)

反対討論 大石 駿

政府は地方交付税総額抑制を検討しているが、この構想が引金となる恐れがある。経済、都市機能、生活機能など、広範囲の事業があり道州制への布石も懸念される。病院や協同組合などの機能集約が入っている。また地元町民への説明、住民の理解が不十分である。

賛成討論 藤田和寿

連携中枢都市圏を取りまく環境の中、町づくりは大きな位置づけである。
広域消防、第2次救急地域医療の兼ね合いの体制も高い、少子高齢化の中、各首長が各市町の発展を願い、国の財源を使い、一つの手段として住民の皆様には大変有意義な事である。

賛成多数で可決

指定管理者の指定について

神戸集落センター 質疑なし

北区自治会

大幡会館

北区自治会

川尻浜町会館

川尻区自治会

住吉会館

住吉区自治会

吉田町健康福祉センター

吉田町社会福祉協議会

吉田町老人福祉センター

吉田町社会福祉協議会

吉田町北区いきいきセンター

ハイナン農業協同組合

吉田町デイサービス

ひまわりの家

社会福祉法人 杉の子

人事案件

人権擁護委員の推薦

大畑一松氏
三輪春美氏

東海旅客鉄道に要望事項

中央新幹線建設における大井川の流量確保及び水質保全に関する要望

【全会一致で可決】

28年度吉田町立小学校空調設備設置工事請負契約について

一般競争入札による契約
金額1億9008万円
契約の相手
静岡市葵区清閑町14番5号
菱和設備株式会社
取締役社長 山名昭義



町政を問う

遠藤孝子議員

問 吉田町の教育改革の取り組みは

答 TCP・トリビンス・プランを実践する

問 TCP・トリビンス・プランの概要と次期学習指導要領の先取りとは？

答 「吉田町はすべての子どもに最高の教育サービスを提供する」ことを目標にしたTCP・トリビンス・プランの、Tは先生、Cは子ども、Pは保護者の頭文字をとっている。トリビンスとは、三者共益を意味する。目標達成のため、①子どもの「確かな学力」②教職員が授業に専念できる環境づくり、③保護者の教育ニーズに応じた環境づくりを柱としている。①は授業時数220日以上（現在206日）にし、学びの連続性を確保する。29年度から外国語指導助手・ALTを各校一人ずつとコーディネーターを一人配置する。次期学習指導要領の「外国語教育の充実への対応」を先取りした。「幼保・小中一貫教育

の推進」は、町の幼児教育カリキュラムを次期幼稚園教育要領に対応させてある。「初等中等教育の一貫した学びの充実への対応」を先取りした。②は、国が目指す「カリキュラム・マネジメント」を先取りした。夏季・冬季の学習対応としてのエアコンを完備する。

③は、授業日数の増加に伴い、学校給食実施日の拡張、4時間日の対応として、公設学習塾や放課後補充学習などを実施する。

問 夏季・冬季休業の組み方は？

答 夏季は8月11日から20日の10日間、冬季は12月29日から1月3日の6日間を学校閉庁日とする。

問 子育て環境の充実に
ついて

答 子育てしながら働きやすい環境

問 ファミリー・サポート・センター事業の広報は？

答 サポート会員の募集は、庁舎、子育て支援センター、児童館、日赤奉仕団、社会福祉協議会、町のホームページ、FM島田などや子育て世代が集まる施設の協力を得る。リクエスト会員の募集は広報よしだ、町のホームページです。

問 リクエスト会員の募集状況は？

答 現在入会申し込みは6人、問い合わせなども18件ある。

問 サポート会員の研修目的及び内容のポイントは？

答 サポート会員になるため3日間講習を受ける。ポイントは、厚生労働省のガイドラインを参考にした保育の原理である。



サポート会員講習会



町政を問う

大石 巖 議員

問 気軽にお出かけできる交通システムを

答 多様な町民ニーズの方策を検討していく

高齢化社会を迎え、買い物に出かけることが大変な人、障害や病気をもちの人、車での外出を控えたいと思っている人などが増えています。
食料品や日用品の買い物、役場や図書館、病院や銀行などへの交通手段としてだれもが気軽に利用でき、お出かけできる交通システムについて質問しました。

問 町内で「交通弱者」といわれる人たちの状況はどうか。

答 当町の高齢者人口は、7085人、高齢化率23.9%で、要支援・要介護認定者数は953人で増加傾向にある。生活支援の情報交換を目的に「高齢者の生活を支え合う会」を開催し検討している。

「住民意識調査」では重要度が比較的高かったことを踏まえて検討すべきテーマと判

断している。

問 「生活交通確保対策協議会」の協議内容はどうか。

答 23年に課長以上の関係職員で「吉田町生活交通確保対策委員会」を設置し、路線バスの維持や利便性の確保について協議してきたが、28年7月、外部委員を加えて「吉田町地域公共交通会議」を設置し体制を整えた。

この会議は16人の委



デマンド型バスの利用例
「デマンド型とは、バス・タクシー会社と自治体が協力し運営を行い、予約により運行する公共交通システム

員で構成し、中部運輸局静岡支局、県地域交通課、牧之原警察署やバス・タクシー事業者などと、さわやかクラブ連合会、自治会連合会、社会福祉協議会などから利用者側委員を選出したでいる。
今後、この会議の議論をさらに高め、より良い公共交通のあり方を検討していく。

問 福祉サービスの向上、健康保持、免許証返納など多角的な角度から「気軽にお出かけできる交通システム」の構築は喫緊の課題ではないか。

答 当町では、「障害者移動支援事業」により障がいのある方の外出にヘルパー支援を、「高齢者移動支援事業」として自力での外出が困難な高齢者の送迎支援を、「重度障害者移送費助成事業」でタクシー料金の2分の1の助成を行っている。

町民のニーズは多様であり、多角的に方策を検討していく必要を感じている。



デマンド型タクシーの利用例



問 公共下水道 計画区域・目標達成までの費用は

答 未整備区域の整備費用201億7,400万円

答 全体の未整備区域のうち、未整備区域の算定は、

問 計画目標の達成までに掛かる費用

答 計画区域内の推定人口は2万8000人、計画区域外は推定2300人である。

問 全体計画区域内と計画外の推定人口は。

答 見直しはしていない。

問 27年と28年で、見直しをするという事だったが、見直しは。

吉田町の全体面積は、2073ha。全体計画区域面積は920ha。27年3月31日では259.9haの整備が進んでいる。2年度から27年度までの総事業費は31億8306万円、公共下水道事業費は219億7518万円が使われている。

全体の未整備区域のうち、未整備区域の算定は、

計画目標の達成までに掛かる費用

計画区域内の推定人口は2万8000人、計画区域外は推定2300人である。

全体計画区域内と計画外の推定人口は。

見直しはしていない。

27年と28年で、見直しをするという事だったが、見直しは。

吉田町の全体面積は、2073ha。全体計画区域面積は920ha。27年3月31日では259.9haの整備が進んでいる。2年度から27年度までの総事業費は31億8306万円、公共下水道事業費は219億7518万円が使われている。

の整備に要する費用は、汚水管渠の整備に15億8400万円、処理場の整備に45億9000万円、合計201億7400万円となる。

年度	総事業決算額	公共下水道事業費	利用可能人数	対総事業費	
				1人当たり	1世帯当たり
25	9億8,283万円	4億6,315万円	160	614万円	1,708万円
26	8億9,505万円	3億6,823万円	185	483万円	1,344万円
27	12億1,230万円	6億7,766万円	27	4,488万円	1億2,490万円
合計	313億8,306万円	219億7,518万円			

総事業決算額 = 事業費 + 公債費（元金・利子）
 公共下水道事業費 = 建設費 + 維持管理費
 建設費 = 管渠建設費 + 浄化センター建設費
 維持管理費 = 管渠 + 浄化センター維持管理費

28年3月31日
 人口29,702
 世帯数10,671
 人口 ÷ 世帯数 = 2.783人

人槽	金額
5	33万2,000円
7	41万4,000円
10	54万8,000円

設置費用（5人槽）
 1基あたり
 約80万円

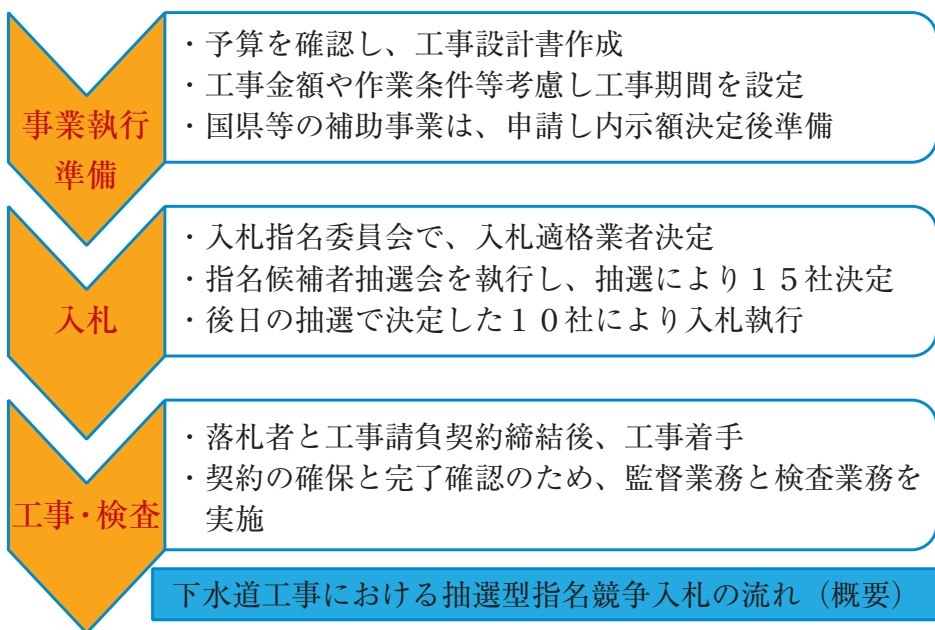


町政を問う

藤田和寿議員

問 入札落札率の100%は

答 予定価格と同額であり何ら問題はない



問 事業の予算化から検査までは、どのような流れか。

「広報よしだ1月号」の入札結果に、落札率100%と公表されてきました。この内容に對し「競争入札で100%とは」と、町民の声を聞いている。そこで、今回の入札について、町の考えを質問しました。

答 抽選型指名競争入札の一般的な流れを示します。

問 入札結果をどう判断しているか。

答 抽選型指名競争入札は、予定価格の範囲内で最低制限価格以上の内、最低の価格を持って申し込みをした者が落札者となり、何ら問題はない。

問 入札結果をどう分析しているか。

答 高い落札率は、一般的に価格競争原理が働いていない印象があるが、入札者の受注状況、物価の上昇、工事箇所や工事内容に起因し、落札率が高くなったと分析している。

問 入札10社のうち9社が予定価格と同額の100%であったが、抽選型指名競争入札に限っては、参加業者の意向を踏まえ、予定価格を事前に公表しており、予定価格と同額の入札も、適正な入札となる。

答 入札10社のうち9社が予定価格と同額の100%であったが、抽選型指名競争入札に限っては、参加業者の意向を踏まえ、予定価格を事前に公表しており、予定価格と同額の入札も、適正な入札となる。

問 今後において、改善や対応を考えているか。

答 工期が年度末の繁忙期となり、入札者の受注量の増加の中での入札となったことから、これまで以上に発注計画を踏まえた進捗管理を行う。

*29年度から工事の発注見通しの見直し頻度を、年1回から月1回程度へと増やし、速やかに公表する。
*建設業の人材、資機材の効率的な活用を促し、年間の工事量の平準化に努める。

問 建設工事発注見通しでは、入札時期が8月下旬であったが、12月21日まで伸びた理由は。

答 道路管理者の県との事前協議で、施工方法と道路占用の協議に時間を要し、その結果を反映させた工事設計書の変更が生じ変更した。

40歳以上の健康づくり

町の取り組み状況と課題について調査・研究

総務文教常任委員会 調査報告



よしだ健康マイレージ



ふじえだ健康マイレージ

藤枝市視察風景

25年の死因別死亡者割合は、悪性新生物(がん)、心疾患、脳血管疾患が高く死亡原因の半数を占めている。特定健診の結果では高血圧症有病者、糖尿病予備軍、習慣喫煙者の値が高くなっている。(健やかプラン21)

町では、がん、循環器疾患、糖尿病の発症予防と重症化予防に取り組んでいく方向性をもっている。

よしだ健康マイレージを知っていますか。みなさまの健康づくりを応援するポイント制度です。ポイント獲得に挑戦しましょう。

視察の目的と報告

三島市と藤枝市を視察し、健康づくりの取組を調査・研究することで、40歳以上の健康づくりに生かす。

三島市健幸マイレージ事業の現状

スマートウエルネスみしまアキシヨンプラを策定し、プロジェクトチームを立ち上げ、全庁的に取組んでいる。3つのキーワード

- ①エビデンス 科学的根拠に基づく健康づくり
- ②スマート 無意識に自然と健康づくり
- ③コラボレーション 民間との協働

ふじえだ健康マイレージの現状

健康・予防日本一ふじえだプロジェクトが立ちあげられた。特徴は、市民、事業者、行政が一体となつて推進している。

大手連携企業とは、インセンティブを利用し、官と民と関係が最大限生かされている。

まとめ

- ①両市とも7割の無関心層をターゲットとした展開をしている
- ・男性の取り込み
- ・若者へはアプリの利用
- ②産・官・学の協働
- ③全庁的取組
- ・意識調査をした市民主体の健康づくり

委員会のまとめ

・40歳以上の健康づくり事業は、健康で元気な体と幸せな生活を作りだす環境の整備と準備が大事であること。

・力強い取り組みと意気込み。担当者の熱意と行動力が健康マイレージ事業を押し上げている。



・全市、全庁の全体的取組や産官学を含めた一体的連携。

・吉田町の基本理念である「誰もが健康でいきいきと暮らせる町づくり」に沿った、健康マイレージ事業、生活習慣病予防啓発事業、地区健康度アップ事業展開が始まり、健康づくりの位置づけとして全庁的な盛り上がりが大いに期待する。

委員長 山内 均

視察報告書を作成しました。フェイスブックなどで公開します。

「観光資源の開発」調査終了 町の産物、産業、文化、歴史を 知ることが観光資源となる。 産業建設常任委員会



所管事務調査の結論

町内の隠れた観光資源として「花の会による花壇巡り」「御利益スポット巡り」「4自治会地域のお祭り」などを取り上げた。これらを町民および町外に広く周知していくことで、観光資源が乏しいとされる当町に新たな賑わいの創出が図られると考える。

しかし、公共交通機関が乏しいため課題も多い。

また、御利益スポットは個人所有のため観光スポットとするためには個人の理解と協力が不可欠である。

交流人口増大を図るためには、富士山静岡空港への交通アクセスに課題がある。空港から町内への公共交通機関がないため、観光資源の開発により町内への流入需要を増やし公共交通機関の開設が望まれる。

焦点を当て、更に町内を回遊して町の魅力を知っていただくことにより吉田町全域が観光資源となる。そのためには、展望台小山城駐車場、県営吉田公園駐車場などを起点としたレンタサイクルが有効である。

所管事務調査を通じ、町内には知られていない観光資源となり得るモノが多数あることを認識した。

観光情報の発信拠点としてのオアシス館が機能することが必要と考える。

町民の皆さんが町の産物、産業、文化、歴史を知ることにより、観光資源を生かす取り組みが必要であり、「吉田町観光大使」となることが望まれる。以上を後押しする施策、事業を展開することが必要であると結論する。

委員長 増田剛士

議会ICT推進
特別委員会

視察報告

・視察先
岐阜県可児市議会
・日時
平成29年2月2日(木)

・視察内容
議会中継

質疑結果

①企画から配信
・録画配信は、編集作業をフリーソフト「ムービーメーカー」を使用し編集後、データ容量の圧縮を行い、YouTubeで配信している。
・費用対効果の為、画質など本会議と委員会とを区別していた。
・防犯カメラシステムを使用し、コストダウンを図っている。



防犯カメラ

②中継への抵抗
・議会動画配信は、当たり前という認識

③初期の頃の課題
・映像の編集に時間がかかった。

④情報操作の危惧

・会議出席者の議員および当局説明員の相互が、発言内容について注視し、「すぐに」是正しており、いままでも問題は起きていない。
・発言については議員責任で帰結し、問題などの発言があれば政治倫理審査会によって対処している。
・情報リテラシーについて、特に批判は受けていない。
・発言内容に対しては、座長が注意し、訂正をその場で行う。

⑤市民の評価
・市民の評価は上がっている。

参考事例

①経費節減
・議場内ディスプレイは、未使用のテレビを設置し利用。
・安価な防犯カメラシステムを使用。

②映像情報管理
・不規則発言などに対して、映像切り替えを行う。
・映像の録画を編集後配信し、編集を事務局職員が行い、公正性を保つ。
・スクリーンに映し出される資料および映像は、発言者が必要に応じて切り替える。



議場内スクリーン



議場内ディスプレイ

③録画配信の範囲
・本会議および委員会において、職員の録画へのプライバシーに関しては、公僕であり「公務員としての務め」職責として対応するので問題はない。
(例) マスコミ取材を拒否しないことと同じ。
・傍聴者に対して、中継、映像配信における肖像権については、議場内、会議室内において議会が持つことを掲示して周知し対応。
・映像のプラバシーについて、議会に対し苦情や意見などを頂いたことは無い。

④先進的な取組
・プロジェクターとスクリーンおよびテレビモニターを配置し、傍聴者および発言者自身も映像を確認できる位置に配置。
・質問の資料もスクリーンに映し出され、伝えたい状況を視覚で確認でき、問題を共有した質疑応答が可能。

⑤参考事例

・議会のICT化のツールとしてサイボウズを利用し、情報の共有化を行っている。
・Wi-Fiについては、一日パスワードを庁舎内利用者に付与し活用している。
・議会改革の発信。



議会入口の情報発信板

議会中継に向けて
試行を実施

12月定例会一般質問の試行結果

①質問席の定点撮影
・画像のズームや切り替えなど動きがほしい。
・答弁は音声のみのため、議員席の静止画像に見え、臨場感が無い。
・議員全員が見える撮影場所の工夫が必要。

②録画機材

・ネット発信を想定したタブレットで撮影したが、音量データ圧縮・テロップなどの編集作業に難点が判明した。
・カメラ撮影の試行検討も必要である。

当局との議会中継
についての下協議

①議員全員の考えを議長がまとめ町長へ提出。
②4月以降に下協議を再開することを確認。

委員長 藤田和寿

28年度議会目標に対する議会の自己評価の結果

目標	課題	取組内容	評価	全体評価	評価理由	
議会に対して	会議の活性化	情報・問題の共有	<ul style="list-style-type: none"> ○ = 3 △ = 8 × = 2 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・情報や問題点の共有化は不十分で課題の解決に至らなかった。 ・議員活動で得た情報や問題点を共有化するための議員懇談会の開催が少なかった。 	
		質疑討論の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・議案等の論点を明確にして質疑の充実を図る。 ・議案審議方法を検証し、よりよい審議方法に見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ = 4 △ = 7 × = 2 	△	<ul style="list-style-type: none"> ・論点整理は行われたが、明確にならなかった。 ・質疑がはっきりしなかった。 ・審議方法は検証には至っていない。
	情報の発信	議会のICT化	<ul style="list-style-type: none"> ・議会中継に向け、各委員会の中継を行う。 ・議会フェイスブックの充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ = 8 △ = 4 × = 1 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・試行を行い課題に向け取り組んだ。 ・フェイスブックは随時発信している。
		議会だよりの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・読みやすい議会広報の充実を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ = 9 △ = 4 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・読みやすい議会広報を目指した紙面づくりが実施できた。
町民に対して	議員の責務	資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・議会研修の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ = 9 △ = 4 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり研修が行われた。
		信頼回復	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田町議会基本条例を順守する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ = 3 △ = 2 × = 8 	×	<ul style="list-style-type: none"> ・信頼回復に至らなかった。
	住民意見の反映	議会報告会の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・住民にわかりやすい情報を提供する。 ・町民との意見交換を活性化し、政策提言に繋げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎ = 1 ○ = 7 △ = 5 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・報告会の定着が図れた。 ・アンケートや反省を基に報告並びに意見交換ができた。 ・政策提言までに至らなかった。
出前会議の開催		<ul style="list-style-type: none"> ・PRと開催に向けたサポートを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> △ = 2 × = 11 	×	<ul style="list-style-type: none"> ・議会として動きが足りなかった。 	

評価基準は、『設定以上にできた⇒◎、設定どおりにできた⇒○、設定には足りなかった⇒△、出来なかった⇒×』

議会フェイスブックページから、議会情報の発信中。
こちらからどうぞ

<https://www.facebook.com/yoshidachougikaict>



(QRコード)

動画や写真のスライドショーなど、
議会活動の様子をご覧いただき、ご意見をお寄せください。

吉田町議会主催

第14回議会報告会のお知らせ

平成29年度予算など議案審議における質疑、平成28年度議会目標に対する議会の自己評価の結果について報告を致します。車座になって懇談しましょう。

みなさまのお越しをお待ちしております。

前回までの報告書はHPをご覧ください。

日 程		内 容
5月17日(水) 川尻会館	19日(金) 自彊館	☆定例会審議の状況
18日(木) 住吉会館	20日(土) 片岡会館	☆平成28年度議会目標に対する議会の自己評価について
時間 19時～21時		☆意見交換
問い合わせ：議会事務局 33-2141		



良質うなぎ研究会

目的は 安全、安心でおいしい鰻の生産、安定した出荷と販売を目指しています。

会の活動状況は 組合加工所にて加工し生協を中心に販売(約300トン) 小山城楽市、市町村駅伝大会、町内イベント会場で蒲焼白焼販売を行っています。組合売店ではふるさと納税返礼品として扱っています。

会を立ち上げたきっかけは ハウスでの加温養殖が始まり病気の予防、品質の向上稚魚の採捕状況や絶滅危惧種指定を受けての対応等平成5年に発足して24年目、会員17人で研究しています。

静岡うなぎ漁業協同組合 良質うなぎ研究会

ますの話題(レポート)

ますの話題



吉田公園の命山とチューリップ



第47回静岡県選抜野球大会 吉田中優勝(提供：吉田町)

あ と が き

田植えも近づき、水路や田んぼに水が流れ始めました。川からの水落にブツブツやナマズの稚魚がたくさんとれた思い出があります。

最近、川魚の姿を見ることが少なくなり、子どもが川で遊んでいる風景はありません。自然が失われていくという思いと同時に、今の子どもたちが自然に対してどう思っているのか、ちょっと心配です。

議会報告会も間近に迫りました。議会基本条例に基づく、今年度の「議会目標」を定め、町民のみなさんと住みよい町づくりを進めていく決意です。

(I・O)

議会広報特別委員会

委員長 三輪美由紀

副委員長 山口一博

委員 三輪昌代

委員 三輪正邦

委員 河原崎昇司

委員 大石巖